No. 141
令和6年1月24日発行

いけだ 議会だより

写真提供　寺島正治様

特集　高瀬中学校3年生模擬議会
“池田町をもっと元気にしたい！”
2-3ページ

保育園統合　賛成・反対討論 ……………………… P4
議会活動報告「喬木村、高森町保育園視察」研修会 ‥ P6
一般質問　8名の議員 …………………………… P8
裏表紙　第14回池田町みんなの文化祭 ………… P16

新年あいさつ

健康で笑顔あふれる 安心・安全なまちづくりを

議会議長
横澤はま

新年あけましておめでとうございます。

希望ある新春を皆様おそろいでお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

年頭にあたり議会を代表し謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年は不透明な国際情勢の影響を受け原油価格の高騰などをはじめ、様々な物価が上昇し生活の影響が生じた１年でありました。今後さらにこの状況が続き、経済の先行きになお不確実な要素が見込まれておりますが、安心・安全で幸せな社会を願います。

さて、『人は健康であることが最大の幸福、その大切な「食」は生きる上での基本』とした、食を通じた健康づくりや地産地消、食文化の継承などを図る池田町の「あづみ野池田いきいき食育条例」が制定され２年が経過しました。これに

〈主催〉高瀬中学校、教育委員会、役場総務課　〈協力〉池田町議会

高瀬中学校３年生が町政を問う！

10 月 13 日事前見学が行われ、31 日高瀬中学 3 年生 67 名による模擬議会が役場議場にて開催されました。

町民にも大変好評で、池田町の未来創造のために今後も継続して開催されることを望む声が上がった。

質問項目抜粋

- 給食から麺の提供がなくなった。なぜ給食から揚げパンがなくなったのか。
- 給食委員会で他県の例を提案したが、ほぼ却下された。納得のいく説明を。
- 松川駅までタクシーやバスの普及を図るべきだ。
- 池田町に駅がない。公共交通機関が少ない。ライトレールの成功例もある。
- 商店街に若者が喜ぶ店が少ない。他の市町村に行くことが多い。本屋や飲食店、カラオケ等若者が喜ぶ店をもっと作るべきだ。
- 人口が増えている所は観光に力を入れている。もっと商工費に予算をかけて、観光発展させることはできないか。
- 限られた予算の中で、今後どのような建物等を造っていくという具体案はあるのか。また少子高齢化への対策を教えてほしい。
- 登下校時危険個所にカーブミラーや街灯を設置してほしい。夜道暗くて危ない。カーブミラーがなくて危険な思いをした。
- マウンテンバイクは池田の自然に適している。今後道の整備計画は。
- 遊休農地再利用で都会の若い世代が田んぼに触れる機会を増やし、田んぼランド等遊び場にしたらどうか。
- 町活性化のため様々な活動を行っているが、お金の補助や宣伝に協力を。

高瀬中学校 小林直樹先生より

３学年の国語科・社会科で「池田町に言いたいことを賢く言っちゃおう」と題して町の予算や各資料、生徒が日々感じていることを基に、池田町の課題を生徒の視点で探り、町に提案する学習活動を行いました。

よりよい池田町をつくるための提案をする模擬議会の開催にご尽力いただいて、生徒にとって貴重な体験の場となりました。ご協力ありがとうございました。

終わってホッとする生徒たち

基づき「第2次池田町食育推進計画」を策定し、健康長寿の町を目指しております。人口減少が加速し町の高齢化率が40.8%というなかで、食・医療・福祉・介護などさらに充実させることが、町民が安心して暮らせる健康長寿のまちづくりに繋がるものであります。

今年度6月、議会改革等推進特別委員会を設置し、住民要望のくみ上げや、町・議会の財政健全化、議会基本条例の見直しを議論していく上で、「町民の皆さまと議会との懇談会」を実施することができました。町民要望は政策提言に活かし、町民の福祉の向上と町発展に努めてまいります。また、町課題の行財政改革の推進に関すること、人口減少、高齢化に関する諸問題、産業振興、農業振興、里山整備、商工業、観光などをより充実させ、健康で笑顔あふれる安心・安全な、「魅力あふれる美しいまちづくり」に向けて行政とともども、力を合わせて取り組んでまいります。

町民の皆さまの一層のご理解とご協力を賜りたくお願い申し上げますと共に、今年が皆さまにとりましても幸多き年でありますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

生徒1人ひとりに熱心に応える甕町長

池田町をもっと　元気にしたい!!

模擬議会開催！

YouTubeでも配信

プレゼン形式で登壇

生徒感想文冒頭抜粋

・議員の人たちもガチになって考えていてくれて、自分たちも一生懸命やって良かった。都市部には見劣りするのは仕方ないことだけど、町も町なりに頑張っていると思った。役場の人たちは本当に町を思って、本気で課題と立ち向かっていることがすごく伝わってきた。
・模擬議会をしてみて、自分の知らないことや、確かに〇〇して欲しいよな～という感じで面白かった。自分たちのグループが秒で終わったけど、たぶん賛成？してくれたことがうれしかった。
・その他９頁にわたり65名の生徒さんから感想を頂きました。

教育長コメント

子どもたちが町政を自分事としてとらえ、問題意識をもって調べ、考え、意見を交換して質問に臨んでいました。主体的･対話的で深い学びの具現化した姿だったと思います。議会の皆様をはじめ、関係する方々のご協力に感謝申し上げます。

議場に溢れる生徒67名

議会報編集委員会より

生徒67名全員の写真掲載ができず申し訳ありません。

事前に一般質問通告書を提出したり、議長の指名で登壇したり、本議会さながらの模擬議会でした。

町税の使い方や商店街活性化、保育園跡利用、町営タクシーシステム設立、町営バス提言等聞きながら、日頃もっと耳を傾けていく必要性を感じました。

高瀬中学校よりお礼と感想
原校長先生

生徒たちの感想で「役場の人たちは本当に町を思って、本気で課題と立ち向かっていることがすごく伝わってきた」とありました。

模擬議会が生徒たちにとって新たな発見の場となり、池田町についてもっと貢献していきたいという気持ちにさせていただく良い機会となりました。

池田保育園統合問題

池田町認定こども園設置条例の一部を改正する条例の制定について

反対討論

矢口結以議員

急激な少子化で池田保育園にすべての子どもたちが収容できるとし、ここ数年の間に教育的な知見など充分な議論もなく統合を押し進めています。今夏に方針を示したが、短期間のうちに時期や計画が様々変わり、その場しのぎの統合案です。会染保育園は地震等の災害時避難施設であるが、なくなれば子どもたちだけではなく、地域住民の暮らしをも脅かす、大変重要な問題。また、町民が統合に積極的な賛成ではなかったこと、町内外からの署名や要望書の提出もあり十分な理解があったとは言えません。教育大綱「こどもがまんなか」どころか、子どもの負担を軽視したものであり令和5年4月1日施行のこども基本法に反していると感じる。少子化を最重要課題と捉えながら、保育園はインフラでもあることも（行政は）全く理解していない。保育園をなくし戻すことは簡単ではありません。よって反対とします。

三枝三七子議員

反対する三点。一点目は、統合の時期が二年先、日本全体で保育環境の方向が混乱。誰でも保育園の導入と全国的な保育士不足。法定配置基準は少人数化。二点目は、統合先：池田保育園は増築せず全員受け入れは不可能。会染保育園を9年間放置した訳、特性の強い子に大音響が難しいと返答、その子たちは統廃合後の増築工事で通園拒否の場合、親は働けず就労先の自治体に出ていく。行政から統合の説明は矛盾と不十分、会染保育園を放置してきた謝罪もない。三点目は、条例制定議決前に、「決定事項」として町内に周知。権力でねじ伏せるやり方は議会制民主主義に反する。この姿勢は、「人口問題解決・少子化対策」に悪影響とわからないのか。町長は、会染地区平坦地には園を新規に建てる場所は災害区域であるため該当しないと答弁。会染地区の高齢者の浸水災害時に保育園に避難出来る望みを見棄てた判断。

服部久子議員

町長選まで3か月を切る時期に保育園統合案の提出は不見識。財政負担を統合の理由に上げているが、国は、「公立保育園整備や運営経費は、国庫補助金の一般財源化による影響が出ないよう地方財政措置を講じる」と国会答弁している。財政負担は統合の理由にならない。会染地区は若い世帯が増えており、保育園をなくすと少子化が進み、将来人口減少につながる。保育園統合案に反対する。

薄井孝彦議員

次の4点により統合すべきでない。

①会染地域は移住者が多く、保育園がなくなれば、少子化・人口減を促進するので、すべきでない。

②統合理由としている保育士不足は全国的課題であり、統合しても抜本的な解決にはならない。保育士の確保には待遇改善が必要である（時間労賃・期末手当てのアップなど）。

③統合による多人数保育では保育士の目が届きにくくなる。子どもの育ちにゆったりした2園存続が良い。

④地方政治は住民の意思に基づいて行われなければならない。保育園統合は賛否両論あり、3月の町長選で町民の意思で決めるべきである。本議案の上程は時期早尚で、撤回すべきである。

会染保育園、

12月議会定例会　議案第51号

賛成討論

和澤忠志議員

会染保育園が令和７年度より池田保育園に統合される方針が決定されたことに対し、町長、教育長、関係者各位の長年のご苦労とご協力に理解を示したい。会染保育園の老朽化と保育士不足等により安全な質の高い保育環境が保てなくなり、また、今後の少子化を考えると池田保育園に統合することにより、大勢の子どもが集まり子どもなりの競争心や協調性、友達を思いやる気持ちがより深まる環境に変わると考える。安全で質の高い保育環境のなかで、保護者や町民が安心して子育てができることが、最重要課題であると考え、条例の改正に賛成します。

中山　眞議員

この議案は保育環境の充実推進を速やかに実施することを目的としたものです。10年以上という長年の議論の中で、結果を見い出せない状況が続き、老朽化が著しい会染保育園舎の中での園児の安全確保が急務となっています。人口減少対策等の政策の前に、先ずは園児にとって何が大切かを見据えるべきです。大事な成長期の園児自身の発達食育、園施設環境、保育士の充実等の保全を図り、園児の成長、創造性を活かす園であってほしい。池田町は、今は体力をつけて、長く保育の質を維持していく努力をすること、子育て環境の将来にわたる保全や扶助費等の確保をしていくことが必要です。身の丈に合った行政運営を図っていかなければならない。園児の未来に健全な池田町を残していくことが大事です。

大庭美秋議員

当町も少子化が進み、保育園については１園で保育できる状況まで少子化が進んでしまいました。残念な事ですが、この事は現実として受け止めなければなりません。両園共に少なくなった園児が一緒になり、より多くの友達と元気に楽しく成長できる環境になることが、子どもたちにとってプラスにつながると考えます。そして保育士不足の中、保育士の方々もより目の行き届いた保育につながると考えます。

会染保育園の深刻な老朽化については、全議員が認識しています。そのような環境下で保育士の方々は、園児の安全面、健康面の配慮に負担が増していますが、日々の保育に感謝するとともに、頑張っていただきたい。限られた時間ですが、課題解消と子どもを主役に体制づくりを望み賛成討論とします。

大出美晴議員

私は町長の決断を支持します。よって今回の条例改正は賛成いたします。

長年にわたり会染保育園の問題は町民にとっても関心の一つでした、しかしながらこれ以上引き延ばし町職員たちの負担と不安を強いることは最善の策とは思えません。サイレントマジョリティーという言葉もあります。

議決は執行のための手続きや過程です、議会の構成員である議員の心構えとして執行機関とは一歩離れ、二歩離れない姿勢が大事だと思います。よって改めて賛成いたします。

山崎正治議員

出生数の急激な減少により少子化が進み、池田保育園一園で園児全ての保育が可能になった。また、ある程度多い人数の中で保育されることにより、子どもたちは、協調性や社会性を育む事が出来る。会染保育園は、築43年経過し、老朽化が進んでいる状況である。一時も早く保育環境の良い池田保育園にて幼児教育が受けられる体制づくりこそ、今を生きる大人達に課せられた使命である。

令和３年度以降会染保育園方向性検討の過程で行ったパブリックコメント、保護者アンケート等のいずれも統合賛成・承認が過半数をしめている民意を反映し、長年の懸案事項である保育園問題に結論を出すべきである。

「喬木村、高森町保育園視察」研修会の報告

喬木村役場、「たかぎほいくえん」、高森町議会、「認定こども園ぱどま」
〈主催〉喬木村議会、高森町議会・教育委員会、池田町議会９名

喬木村議会・教育委員会

無投票、定員割れが続き、対策検討委員会で夜間議会模索、議会モニター村民から募集26名で定例会ごとに意見交換。一時報道で取り上げられ注目されたが、1回のみ夜間議会実施。議会モニターでの発言も一部村民が議会批判に終始するのが現状で、もっと広く村民にアピールしていかなければならないと考えている。

村営住宅16戸新築し移住定住増に繋がっている。

平成29年保育園統合に取り組み、各地視察を実施。保育士目線で新築建造。給食室オール電化、送迎バス停留所保護者アンケートでこまめに設定。1日朝2便、効率的に巡回するよう工夫している。未満児部屋を広くとっている。定員200名。

高森町議会・あったかてらす、認定こども園ぱどま

「女性活躍子ども子育て拠点施設・あったかてらす」（運営は委託）

親と子が共に遊ぶ・食べる・寝るの環境下で、保育士、保健師、助産師、栄養士、音楽講師、医師、幼児教育専門家で支援。子どもの発達モデルに合わせた様々な支援メニューが揃う。近隣市町村からも受け入れ。

「認定こども園ぱどま」

寺の住職が経営。0歳児から受け入れ163名の園児数。0～2歳児は廊下続きの別棟（保護者が気楽に入室できるよう工夫している）

入園説明会では、実質的な統合に関する大きな混乱、問題はなかった。

保護者の心情面に配慮し進めてきた結果と認識。

陳情賛成討論

陳情７号

薄井孝彦議員

賛成です

政府は来年秋に現行の健康保険証を廃止し、マイナンバーカード（マイナ保険証）への一本化を目標としている。しかし、これには2つの問題点がある。一つは、マイナ保険証のトラブルであり、他人の情報に紐づけされた、保険資格が確認できないなどの事故が続出している。二つはマイナンバーカードのない人に「資格証明」を出すことになっているが、これは、申請しないともらえないことである。一人で申請できない人は無保険者となる可能性がある。現行の健康保険証は存続しても何ら問題ない。以上の理由により本陳情は採択すべきである。

陳情11号

生活保護基準は2013-2015年、2018-2020と相次いで引き下げられており、健康で文化的な最低限度の生活ができない状況にある。生活保護引き下げの取り消しを求めた裁判で12の地裁で原告が勝利している。国が生活保護基準を引き下げることは生活権を保障した憲法25条に違反するものであり、本陳情は採択すべきである。

服部久子議員

賛成です

生活保護は、2013年から3回に分けて引き下げられており、最大10％かっとされています。全国29の裁判所で戦われており、1高裁、12地裁で減額取り消しの判決が出ています。11月30日に行われた名古屋高裁の判決は、「過去に例のない大幅な生活扶助基準の引き下げで、生活保護受給者にとって非常に重大である。」として国家賠償を認めた判決が出ています。最近の物価高で多くの国民の生活が厳しくなっている状況です。国はすべての国民の生活を守る勤めがあります。よってこの陳情に賛成します。

一目でわかる!! 主な議案の説明と審査結果

12月定例会 提出案件

○…賛成　●…反対

区分	件名	審査結果	矢口結以	三枝三七子	山﨑正治	大厩美秋	中山眞	大出美晴	和澤忠志	薄井孝彦	服部久子	横澤はま
承認	令和5年度一般会計補正予算（第7号）について	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−
議案	国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−
	認定こども園設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決	●	●	○	○	○	○	○	●	●	−
	町道の路線の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−
	町道の路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−
	令和5年度一般会計補正予算（第8号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−
	令和5年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−
	令和5年度水道事業会計補正予算（第1号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−
	令和5年度下水道事業会計補正予算（第2号）について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−
	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−
	特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−
	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−
	第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−
	令和5年度一般会計補正予算（第9号）について	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	−
	ハーブガーデンの指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−
請願・陳情	「従来型（紙）の健康保険証の存続を求める意見書」を国に提出することを求める陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−
	生活保護基準を引き下げ前に戻すことを国に要望する意見書提出を求める陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−
	池田町第6次総合計画の見直しに関する陳情書	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−
	現行の健康保険証を残すよう国に意見書提出を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−
	「健康保険証」の存続に関する意見書の提出を求める陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−
発議	現行の健康保険証の継続を求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	−
	従来型（紙）の健康保険証の存続を求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−
	生活保護基準を引き下げ前に戻すことを求める意見書について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−

※横澤議長は表決には加わりません。

8議員が町政を問う

質問者	主な質問事項
大出　美晴議員	子ども会育成会と自治会との連携は
大厩　美秋議員	公共トイレと関連する施設管理の今後は
中山　　眞議員	価格高騰による保育園児の給食について
三枝三七子議員	池田町の未来に向けて施策と問題 第６次総合計画を含む
矢口　結以議員	池田町の子育て環境の充実について
山﨑　正治議員	甕町政約８年の総括を問う
薄井　孝彦議員	自治会対策への町取り組みの進捗状況は
服部　久子議員	保育園統合に関する町民保護者説明会を終えて町の考えを聞く

子ども会育成会と自治会との連携は

大出美晴（おおいでよしはる） 議員

問 **池田町における組織体制は、また自治会とのかかわりは。**

答 子ども会育成会は、地域の子どもを地域の力で健全に育成するために地区単位で役員等が組織され、校外体験を通じて社会の一員として必要な知識等を身につけることを目的としている。制度上は、育成会と自治会は別組織であるが密接にかかわっているため自治会活動の一つとして実施しているのが現状である。

問 **地域活動とどう連携させているのか。**

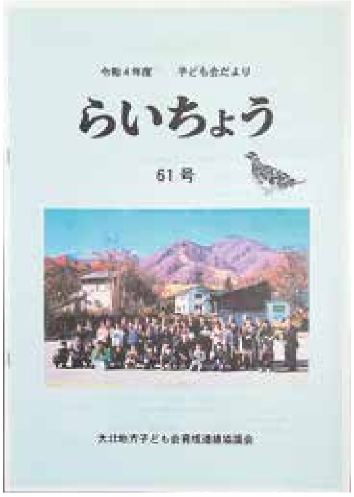
答 お祭りや三九郎などの伝統行事を通じた世代交流を図っている。なお、少子化により地区での活動が難しくなってきていることもあり、「ふるさとチャレンジ塾」を開催し異年齢の児童・生徒の交流を図っている。

問 **大北また県レベルの活動に積極的に参加しているのか。**

答 大北は年6回ほど会議に出席している。また今年度は大北地区子どもフォーラムが池田町で開催された。県主催の総会・研修会等の案内があれば積極的に参加している。

問 **子ども会活動に育成会を通し町がどれだけかかわれているのか。**

答 地区の児童生徒数に応じ交付金を出している。活動内容については地区の判断に任せている。



大北地方の育成会活動の実施報告等が載っている冊子

獣被害に対する対応と森林整備について

問 **今講じている対策と効果は。**

答 「有害鳥獣を遠ざける、侵入させない」ために電気柵がある。維持管理は地域や農地の耕作者にお願いしている。また、電気柵等の資材購入費に補助金を交付している。さらに「有害鳥獣を増やさない。数を減らす」ための捕獲を行っている。被害を減らすため農業者だけでなく、地域全体の課題と捉えて対策していけるよう啓発に努めたい。

問 **人的被害対策と危機感はあるのか。**

答 町では把握した情報を防災行政無線やホームページを通じ、速やかに広く周知するとともに対策の啓発を行っている。

問 **獣害とのエリア分けができる可能性はあるのか。**

答 緩衝帯の整備と適正な維持管理により被害防止の効果は期待できるが、生息エリアを完全に分けることは難しいのが実情である。

サル捕獲用オリ

高齢化が進むことによる今後のごみ集積所とごみ出しのあり方は

大厩美秋（おおまやよしあき）議員

問 **高齢者の方々が少しでも長い期間ごみ出しを続けられるように、ごみ集積所の場所の見直しを衛生組合長会議等で説明と実施を提案する。町の考えは。**

答 ごみ集積所に関する設置要綱を昨年整備した。この要綱に沿った内容であれば、ごみ集積所の場所の変更も可能である。年度当初に開催する衛生組合長会議で設置要綱の内容説明を行いながら見直し確認をお願いしたい。

問 **趣旨をしっかり理解していただく説明と柔軟性ある町の対応を望むが、町の考えは。**

答 指摘、提案については理解の上説明を行い、協働しながら柔軟な対応をしたい。

問 **池田町の高齢化率は65歳以上で全国平均29％に対して、40％と大きく上回っている。集積所までのごみ出しが困難な高齢者に対する支援について町の対応は。**

答 町のごみ出し支援は、令和5年度から介護度1以上の方対象の介護保険の訪問介護、要支援等の方対象の社協で実施している訪問型サービスB型事業と「サポートてるてる」で対応をしている。

問 **今後ごみ出し支援を必要とする高齢者は増えていくと考えるが、対応をどう考えているのか。**

答 ごみ出し支援を継続、拡大していくためには何よりマンパワーが必要である。町民の方々に介護予防・日常生活支援サービス人材養成講座等の受講をお願いし、支援して頂ける方を増やしていきたい。

高齢者のごみ出しが長く続けられる場所の見直しを

町公共トイレ16カ所の管理は

問 **公共トイレの清掃は、ほぼ外部委託されており、概ねきれいに清掃されている。トイレをきれいに利用していただくための取組みは。**

答 きれいに使っていただくための呼びかけ案内の表示や清掃チェック表など検討していく。

問 **町営墓地公園のトイレ清掃は専門として委託されておらず、管理状態に問題がある。早急に委託を望むが。**

答 状況を調べながら外部委託する方向で取り組みたい。

問 **墓地公園トイレは老朽化も深刻であり、墓地の登録をされている方からは清掃料を頂いている事もある。便器の交換と内壁塗装など最小限の改修を望むが、町の考えは。**

答 確かに老朽化はかなり進んでいる。個別施設計画でも建て替え、改修の時期に来ている。実施に向けて十分な検討をしていく。

改修時期を迎えている町営墓地公園のトイレ

町外に誇れる質の高い保育環境を

中山（なかやま）眞（まこと）議員

問　物価高騰が2年続いて前年を上回り、消費者物価指数で食料品価格上昇が今後も避けられそうにない中、町の保育園給食材料費がここ5年ほとんど変わっていない。食事の質が低下すると栄養失調、肥満、免疫力低下など子どもの生活習慣病等に影響していく。また、かむ力や飲み込む力を促す食材や調理方法で、身体や脳の発達に必要な栄養素の摂取が大事。保育園給食に対する期待度が高まっている。園児にとって必要な食育の取り組みがどのように行われているのか。

答　園の食事の関心を高めるため、食育だよりの発行や食事のサンプルを提示している。食育月間等では食事のマナーや箸の持ち方・使い方等指導をしている。食べ物への関心や感謝する気持ちも育てている。

問　年間給食材料費は、ここ10年でも1食当り単価は30円くらいの上がり幅で推移。コロナ禍前と比べてもほとんど変わっていない。特に1日2回のおやつの乳製品等の値上がりは顕著である中、この給食材料費の推移をどう捉えているのか。

答　平成25年で1人当たり231円。指摘の通りほとんど変わっていない。諸物価高騰を受け苦しい状況の中、栄養士や調理士の努力や工夫に感謝している。対策を講じる必要があると感じている。

問　現在は1食当たり約260円前後と思われる。これを350円に。年間給食材料費約1400万円強を1800万円に。今の園児から受けられるように、新年度予算に盛り込む必要があると思うが、どう予算に反映されるのか。

答　物価高騰に対応するため今年度予算の120%、1800万円を計上する。

問　食事の他、園児にとって大切なことは保育士の先生方とのふれあい。保育環境の質の向上に欠かせないのが保育士のキャリアアップやモチベーションアップ。性格や成長スピードが異なる園児の個性や状況を理解し接していく、その精神的疲労は計り知れない。国や県、一般社団法人主導の様々なキャリアアップ研修・講座のほか、保育士のストレスや心身の不調を改善する講座・セミナー等あるが、行政の保育士へのバックアップが必要である。現在実行している保育士支援は。また今後の保育環境改善策は。

答　教育委員会主催の合同研修会や専門講師による保小中15年プランに基づいた指導を受けている。指摘の通り保育士の待遇改善も含めた研修等に取り組み環境整備に努めていく。

第6次総合計画後期計画

問　現在策定中の後期計画に会染保育園、会染西部ほ場整備非農用地、農業担い手問題の地域計画、役場庁舎等の町公共施設等総合管理計画が具体的に盛り込まれた町長自身の色付けが必要。そのための課題をどう乗り越えていくのか目標を明示すべき。町長自身の考えは。

答　前期計画の検証を踏まえ、人口減少、少子化対策を最重要課題とし、財政状況に十分考慮し、成果の出つつある施策をさらに推し進めていく。

このままで良いのか 池田町

三枝三七子（みえだみなこ）議員

総合計画の意味は

問 第6次総合計画と、第5次総合計画の結果と検証の内容をみるとこの町は前進してるのか。この第6次総合計画は一体何の為にずっと作成しているのか。町長に答弁を求める。

答 総合計画というのは、池田町の全ての計画の基本となる最上位の位置付けである。また第6次総合計画から人口減少の克服と地方創生を実現するためのあづみ野池田総合戦略と一体になった計画である。

問 最上位というが、実際審議会においても委員から行財政の有識者を呼んで話を聞きたいという要望をしたが時間がないと言われた。これでは審議会が機能しないのではないかと心配だ。また、2019年には池田町はオーガニックタウンを宣言。令和2年度3月議会でも気候非常事態を宣言し、2050年までにゼロカーボンを目指すと言いつつ、総合計画にはそれらが全く見えない。また、第5次総合計画の達成評価の中で上位課題の「子育て支援」は10年近く課題解消がなされていないが。

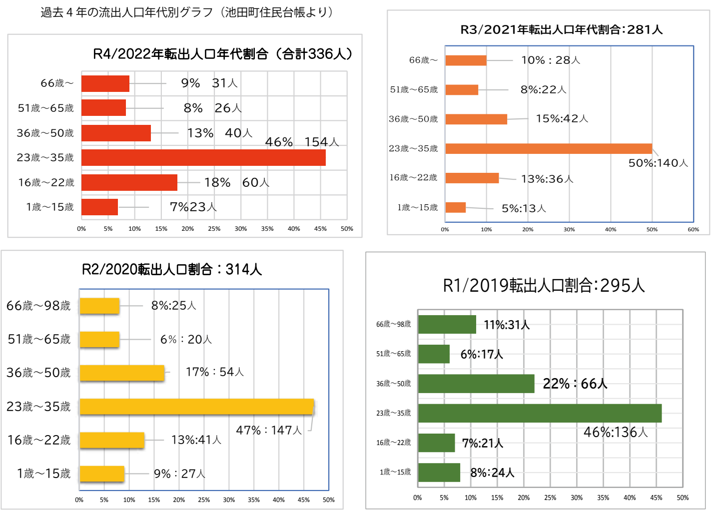
答 現在当町においては人口減少対策をキーワードとして課長級以上で企画会を立ち上げ、岡山県奈義町の視察内容等も踏まえ職員全体で協議を進めている。人口減少によって発生する歳入の減少や地域における人手不足等を改めて具体的に想定し、対策を検討している。

会染保育園統合問題から予見される未来

問 7月10日、会染保育園の統合の方針が議会に伝えられた。議会は二つに意見が割れた。平成25年に池田保育園が竣工開園し、次は会染保育園の新規建て替え建設か、大規模改修なのかが取り沙汰された。今回の統合の根拠は。

答 少子化が進む中で1園で収容可能人数だと見込めること、また保育士不足による保育環境の悪化が懸念されていること、ある程度多い人数の中での保育により、協調性や社会性が育まれること、会染保育園を建て替える場合はかなり費用が必要であること、2園残すことにより維持経費が継続的に発生すること等が根拠である。

問 会染保育園を建て替える場合の費用は、総務省の公共建物に使える地方債を活用すれば、会染保育園は避難所として指定され、緊急防災減災事業・浸水対策地域でもあるので、移転が必要と位置づけられた公共施設の移設にも、国からお金が出る。国の充当率は100%で建築費も出る。安易に統合する、廃園するという選択肢ではなく、新しい場所に移設し、小規模でもいい二億円程の（国9割町負担4千万程度）建物で小規模保育で行うため、会染地区に保育園を残すということは、当町の未来に大きな影響を与える。再検討を願う。



人口資料

池田町の子育て環境の充実と保育園統合を問う

矢口結以（やぐち ゆい）議員

子育て環境のさらなる充実を

問 **出生数減少が著しい池田町において、子育て支援策の見直しが必要だと考える。産婦健康診査は他市町村2回のところ1回、産後ケア通所型、母乳相談クーポン等、池田町のみ助成がない。今後の町の取り組みは。**

答 12月中に係長未満の職員を対象に、職員からの意見も含めてグループワーク等を行う予定である。保護者からの意見も聞きたいと思っている。

問 **町長の考える「子育てのしやすい町」とはどのような町か。**

答 教育保育、防災充実、地域の人との関わりの温かさが子育てのしやすい町の要件であると考える。

問 **会染保育園は地震などの際の指定避難所である。避難所案内看板が設置されていない理由は。**

答 避難は可能である。看板については危機管理対策室に確認する。

問 **池田町には主要な公園はあづみ野池田クラフトパークのみである。平日午後や休日、雨天時などに遊べる場として交流センターかえで内のわくわくキッズルームにおもちゃの設置はできないか。**

答 気軽にふらっと立ち寄れる場として大切な場所になっている。快適な場所が提供できるよう、努力していくと共に、おもちゃは貸し出し制にしていきたいと考えている。

保育幼児教育に対する教育行政のあり方

問 **待機児童ゼロは年度当初の数字である。隠れ待機児童は一定数いると考えるが隠れ待機児童の調査は行っているのか。また今後の取り組みは。**

答 調査は行っていない。保護者の思いや家庭状況を聞き取り、復職に対する個々のニーズ把握に努めている。途中入園の希望に対応できるよう保育士確保に努める。

問 **保育園統合により町内の保育園にすら通えなくなることはあってはならない。支援体制の具体的な計画は。**

答 必要であれば支援会議を実施し、個別に合わせた計画で進めていく。

問 **保育士不足は他自治体でも課題と言われている中で、保育士の職場環境改善、待遇改善を前提に一人ひとりに丁寧な対話も必要ではないか。**

答 日常的に職場環境や待遇についての不安や要望を聞くことが適切という反省を持ち、今年度から総園長や保育士長を配置し、より話しやすい環境を整えてきた。保育士の方々の声にきちんと耳を傾けられるよう努めたい。

問 **中に入ってしまうと外の状況が見えにくくなる。保育士は保育・幼児教育のプロである。教育委員会に保育や幼児教育に長けた専門的知見のある方の配置を望むが町長の考えは。**

答 町としては充分対応していると認識している。

長野県　人口類似自治体　比較表　（約8,000～11,000人）

◎長野県ホームページ(令和５年１０月公表)より⇒人口総数には年齢不詳の人数含む。国勢調査人口等基本集計結果に対し、住民基本台帳の増減を累計し求めた値です

市町村名	人口総数	15歳未満人口	割合	公立保育園 認定こども園	私立保育園 認定こども園	その他 幼稚園など	合計
佐久穂町	9,800	1,014	10.35%	3	1		4
飯島町	8,663	920	10.62%	3		1	4
宮田村	8,418	1,118	13.28%	3			3
木曽町	9,981	773	7.74%	4			4
山形村	8,253	1,028	12.46%	1	1		2
松川村	9,512	1,037	10.90%	2		1	3
白馬村	8,338	900	10.79%	1	2	4	7
小布施町	10,673	1,390	13.02%	2		1	3
山ノ内町	10,717	880	8.21%	5		1	6
飯綱町	9,813	975	9.94%	3	1		4
池田町	**8,934**	**791**	**8.85%**	**2**			**2**

各自治体子どもが少なくても、定員２０～５０名などの小規模保育園を設置している。

長野県　面積類似自治体　比較表　（40.16～57.10㎢）

◎長野県ホームページ(令和５年１０月公表)より⇒人口総数には年齢不詳の人数含む。国勢調査人口等基本集計結果に対し、住民基本台帳の増減を累計し求めた値です

市町村名	人口総数	面積	長野県に占める面積割合	公立保育園 認定こども園	私立保育園 認定こども園	その他 幼稚園など	合計
青木村	3,956	57.10km²	0.42%	1			1
北相木村	699	56.32km²	0.42%	1			1
宮田村	8,418	54.50km²	0.40%	3			3
坂城町	13,392	53.64km²	0.40%	3			3
松川村	9,512	47.07km²	0.35%	2		1	3
高森町	12,618	45.36km²	0.33%	2	2		4
売木村	504	43.43km²	0.32%	1			1
原村	7,734	43.26km²	0.32%	1	1	1	3
南箕輪村	16,185	40.99km²	0.30%	5			5
池田町	**8,934**	**40.16km²**	**0.30%**	**2**			**2**

人口約500~4,000人の村と並ぶことになる。

甕町政約8年の総括を問う

山崎正治（やまざきしょうじ）議員

問 **甕町政約8年の総括を端的に問う。**

答 一期目については、計画されていた交流センターの建設、弓道場の移転建て替え、周辺道路整備、東山ほ場整備、現在進行中である会染西部ほ場整備、給食センター建て替え等、かつてないほどの大型事業が集中し、町全体が大きく整備、変貌した。

二期目に入り大型事業の集中による財政逼迫状況が顕在化した。

残された任期の中で、会染保育園の在り方問題、会染西部ほ場非農用地や、社口原農地を含む農業問題の方向性を示す。

問 **やり残した町政課題は何か。**

答 人口減少・少子高齢化が進む中で課題に向き合いながら、今後の池田町のビジョンをどのように方向付けしていくかが大きな課題である。

問 **奈義町に学び、人口減少・子育て支援対策で具体的にどの施策に力をいれるのか。**

答 池田町は住宅政策が極めて弱い点が挙げられるため、子育て支援策に並行して空き家活用や若者向け宅地造成等の推進に力を入れる。

問 **人口減少対策に資する若者向けの住宅政策を問う。**

答 北保育園の園舎を取り壊し、若者向け住宅地として活用する。また補助金制度を充実し、業者の皆さんが開発しやすいよう、若者向け宅地開発をする。

東山森林保全の現状と課題

問 **東山森林保全の現状と課題を問う。**

答 拡大した松食い虫被害に対応するため、アカマツから他の樹種に転換する更新伐や間伐、保安林区域における緊急改良事業としての伐倒駆除などの対策を中心に、森林機能の維持・改善に努めてきた。

課題は個人の所有森林が圧倒的に多く、相続登記がされていない森林や不在地主も多く、整備に対しての同意を得る事に時間を要すること。また、世代交代や相続、現地状況の変化等により境界がわからない。

問 **東山地区森林間伐の現状と課題は。**

答 森林経営計画が継続する半在家・相道寺・花見地区で構成される東山森林整備協議会が森林整備に取り組んでおり、そのほか堀之内・滝沢・中之郷地区では、経営計画策定に向けた準備が進められている。

問 **東山森林保全に対する町長の考えは。**

答 町では優先すべき課題として、「防災」と「有害鳥獣対策」を中心に取り組む必要がある。「防災」としては、人家・施設・道路等への影響が想定される山林において災害に強い山づくりを進める。「有害鳥獣対策」としては、緩衝帯整備を実施し、獣の住処や隠れ場所とならないような環境づくりを推進する。

子ども議会の検証と評価

問 **子ども議会の検証と評価は。**

答 生徒たちは主体的に考え、仲間と協議し、表現する学習となった。また、国語科の表現の学習と社会科の地方自治の学習を一体化して一つの単元としたという意味でも価値があった。

問 **今後の子ども議会開催予定は。**

答 学校として希望があれば支援する。

保育園統合の決め方は適正だったか

薄井孝彦（うすいたかひこ）議員

問 **町は保育園統合について総合教育会議（町長と教育委員会の協議・調整の場）を開かずに決めたが、町長と教育長は適正な決め方と考えるか。**

答 （町長）県教育員会に聞いたところ保育園設置の権限は町長にあり、問題ないとの見解であった。

問 **法的にみればそのとおりである。しかし保育行政の管轄は教育委員会にある。また教育委員会は町長部局と対等であり、教育・保育行政に責任を負っている。従って保育園統合について教育委員会の見解を聞く総合教育会議で協議してから町長が決定するのが適正と考えるが。**

答 （教育長）総合教育会議は町長が招集する会議であり町長より協議をしたい旨の申し出はなかった。教育委員会が見解を明らかにするとダブルスタンダード（二つの指針が併存する）となり、適切でないと考えた。町長の判断を待ち、その気持ちを尊重する気持ちでいた。従って不適切であったとは考えていない。

自治会対策への町の取り組みは

問 最近、自治会役員のなり手不足や自治会未加入者・脱会者の増加など看過できない状況にある。本年3月定例会の一般質問で自治会活動への町の支援策を問い、町は本年度、自治会の重要性を理解いただく「栞（しおり）」と自治会への未加入者・脱会者対策などを盛り込んだ「自治会活動の手引き」を策定し、支援すると回答した。先の自治会長会議で、「池田町自治会改革・加入促進マニュアル（案）」第1版が披露され、協議に付された。マニュアルの最後にある勧誘書類様式を町のホームページに公開し、各自治会が利用できるようにして欲しいが。

答 改訂した勧誘書類様式を町のホームページに載せ利用いただくようにする。

問 **行政から自治会に依頼している業務（配布物、募金集めなど）の見直しを行い、自治会の負担軽減を検討して欲しい。また、自治会改革の取り組み交流の場を設けて欲しいが。**

答 自治会の負担軽減は県内市町村の動向を参考に検討し、知らせる。自治会改革の交流は自治会長会議で行う。

会染西部地区ほ場整備　非農用地整備は最小の経費で町民益のある整備を

問 非農用地整備の現段階は。

答 多目的広場に防災機能を加えること、多目的広場に設置する施設がどのように配置できるかなど、県と調整をするための資料作成の準備段階である。

問 **町財政を考えると、非農用地整備は最小の経費で管理経費も少ない町民益のある施設となるよう整備すべきと考えるが。**

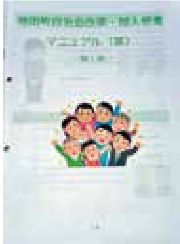
答 防災機能を追加する必要性から、計画の変更を検討するなかで、建設費・維持管理費の面も考慮しながら進める。

問 **非農用地の施設概要の改善案を県に上げる前に、議会や町民に説明や意見を聞き、検討した案を県にあげて欲しい。また、一度県に提出した計画を変更することは容易なことでない。町長は強い意志で県・国への交渉にあたって欲しい。町長の考えを問う。**

答 今後意見を聞く場は設ける。方向性が定まればしっかりと県へ伝えていく。

問 **今回のような多額の経費のかかる計画を県・国へ提出する場合は、町長が基本となる整備方針（経費額も含め）を示し、庁内で検討すべきでなかったか。**

答 庁内・町民の皆さんの意見を聞いて計画を立てて来た。間違っていたとは考えない。



作成された「池田町自治会改革・加入促進マニュアル（案）」第1版

会染保育園統合に関する町民説明会を終えて町の考えは

服部久子（はっとりひさこ）議員

問 10月に保育園統合に関する町民説明会と会染保育園保護者説明会が行われた。統合反対として、町民から「池田保育園に統合すると定員を上回る。出生数減少を見込んで統合するのか」との意見が出た。余裕を持った統合案でないと出生数を増やさないメッセージになるのは当然と思うが。

答 十分協議して、統合しても収容できると判断した。

問 国は、保護者が就労していない子どもを預かる制度を始める。未満児保育に待機児童が出ている。統合で対応できるか。

答 数力所でモデル事業を実施しているが、情報不足のため答えられない。県内では、保育士不足で予定できないと回答した自治体がほとんどで、未確定だが対応できるつもりでいる。

問 会染保育園保護者説明会で児童から「会染保育園を無くさないでほしい」、保護者から「子どもが会染保育園が良かったので保育士になりたいと言っている」などの声があった。教育大綱に基づいて地域の気持ちを大事にし、地域で育てる方針を求めるが。

答 会染保育園が担ってきた役割は、統合しても地域で育てる精神は揺らがない。

問 南台、中之郷から池田保育園まで7㎞もある。町長は足を運んで会染住民の生の声を聞いているか。

答 直接話を伺っていないが、何度もアンケート調査をし、十分町民の意見を収集した。

問 財政を理由に統合案を進めているが、当時の高市総務大臣は国会答弁で、「公立保育園整備は一般財源化されたが、従来の国庫補助金の補助率が2分の1であったことに鑑み、事業費の5割を地方交付税で措置し、残りの5割のうち8割は社会福祉施設整備事業債の対象とする」と発言している。統合案の検討を求めるが。

答 それは知っている。保育士確保や運営経費を自治体が負担し継続するのが困難である。

3歳未満児保育料軽減とヤングケアラー対策の具体策を聞く

問 前回、町は3歳未満児の保育料軽減は、来年度当初から軽減を考えると回答した。具体策を聞く。

答 新年度の査定中で具体策は決まっていない。

問 前回、ヤングケアラー対策を求め、町は、要保護児童対策協議会で協議するとしたが具体策を聞く。

答 県社会福祉協議会が設置した専門相談窓口の周知をし、小中学校の児童生徒及び学校関係者を対象にパンフレットの配布、ポスター掲示などを実施した。

就学援助基準の引き上げを求める

問 町は、令和3年から就学援助基準を生活保護の1・5倍から1・2倍に下げた。物価高で子育て世帯に大きな影響が出ている。就学援助基準を1・5倍に上げることを求めるが。

答 基準はそのままで、物価高騰の影響を視野に運用を考えていく。

人口増加を進めるため公営住宅の建設を求める

問 町長は、少子化問題で岡山県奈義町を視察され、少子化対策は住宅対策と切り離せないと発言があった。生坂村や下条村は計画的に若者向け住宅の建設を進めている。池田町も若い向け世代の公営住宅の建設を求めるが。

答 町有地は、旧北保育園跡地のみで、検討している。

問 町営住宅が古くなっている。計画的に建て替えを求めるが。

答 公営住宅の建設計画はない。民間の宅地造成や空き家バンクの促進で、住居を取得する支援政策が重要と考える。

能登地方被災地に支援の輪！

池田町の防災・減災対策は？

災害のお見舞い

横澤はま

このたびの能登半島地震で被災されました皆様に、心よりお見舞い申し上げます。発生から９日目、不幸にも２００名を超えた方々がお亡くなりになり、今なお１００名を超える方々の行方がわからず、必死で捜索が続けられておるとの報道をお聞きしておりますが、尊いお命を奪われました犠牲者の方々に対しまして、衷心より哀悼の意を表する次第です。

私事でありますが、29年前、阪神・淡路大震災にボランティアの皆さん方と救援活動を行ったことがあり、この震災の教訓から学んだことは、多くの方々から寄せられた暖かい心遣いが足元を照らす光となり、前進する力となって元気を取り戻されたということであります。現地の厳しい状況を伝える報道に接するたびに心が痛みます。池田町議会としても可能な限りの支援をさせていただきたいと考えております。厳寒の日々を乗り切っていただきますよう、心よりお祈り申し上げます。

編集委員会一同

能登地方を震源とする大規模地震が発生し、甚大な被害が発生したことに、心よりお見舞い申し上げます。

犠牲となられた多くの方々のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、被災された皆様の一日も早いご回復をお祈り申し上げます。

また、地震の影響により、交通機関やライフラインの寸断など、生活に支障が生じている地域が多くあります。

国や自治体による救援活動が迅速に行われるよう、一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

私たちも、被災された皆様の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます

今池田町ができることは、余震が続く能登地方に支援の輪を広げることです。池田町社会福祉協議会が中心となって、義援金箱が庁舎内、総合福祉センターやすらぎの郷、交流センターかえで等多くの公共施設に設置されています。動員計画、物資支援、義援金活動等行政職員や議員の支援体制も進んでいます。また池田町議会として義援金を送らせていただきます。

続く余震の中、社会インフラの滞り、厳しい寒さの中での避難所生活、道路寸断による支援物資停滞、防災警報、地滑り・火災対策等、池田町としても教訓にしていかなければならない事が多々あります。行政、議会が結束して防災・減災対策に取り組んでいく必要があります。

今できることは備えです。

編集後記

新年おめでとうございます。寒い冬のよく晴れた朝に山々に目をやると、太陽の光に照らされ山肌が赤く染まるモルゲンロートが見られます。ついつい寒さを忘れて見入ってしまいます。空・山・川・大地の色や空気を四季折々感じられる池田町。今年も太古から変わらぬ自然と景色を見せてくれることを願います。

議会だより編集委員一同、議会の情報や出来事を正確にわかりやすくお伝えすることに焦点を当てて取り組んでいます。議員として町民の皆様との対話を大切にし、意見や提案がどのように取り入れられるかに向き合うことの重要性も感じています。議会だよりに載せているＱＲコードから議会のＹｏｕＴｕｂｅを観ることもできます。議会への関心に繋がるきっかけとなれば幸いです。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

矢口結以

議会報編集特別委員会

委員長 中山 眞
副委員長 大厩 美秋
委員 矢口 結以
山﨑 正治
大出 美晴
横澤 はま

次回議会だより発行は令和6年4月24日（水）を予定しています。ぜひ、御覧ください。

◎発行／池田町議会　◎企画・編集／議会報編集特別委員会　●長野県北安曇郡池田町大字池田 3203-6（池田町役場内）
● TEL.0261-62-3131　● FAX.0261-62-9529　● E-mail gikai@town.ikeda.nagano.jp　● http://www.ikedamachi.net/